

【オリコンサル 南紀白浜空港運営に参画 維持管理 効率化・高度化など推進】

南紀白浜空港運営に参画

維持管理 効率化・高度化など推進
オリコンサル

南紀白浜エアポートの
岡田信一郎社長と、オリ



握手を交わす野崎社
長と岡田社長

エンタルコンサルタンツの野崎秀則社長は15日、南紀白浜空港（和歌山県西牟婁郡白浜町）で会見し、同空港の土木施設の維持管理内容や、両社が連携・協働し推進する地域観光促進、交通円滑化に向けた検討について発表した。

南紀白浜エアポートは、和歌山県から「民間活力導入事業」として南紀白浜空港の運営者に選定され、4月1日から空

港運営事業を開始した。空港運営事業の開始にあたり、同社とオリエンタルコンサルタンツは業務提携を行い、空港の「土木施設維持管理分野」において、オリエンタルコンサルタンツが培ってきたアセットマネジメント

や災害リスク対応に関する専門技術、独自に開発したICTツール等を活用し、空港施設の長寿命化、維持管理の効率化・高度化を進めていく。

また、周辺地域の「観光・地域活性化分野」においては、白浜町内・紀南地域全体の回遊促進、

滞在時間の増加などに向け、小型電気自動車（EV）の展開等を検討する。「交通分野」では、白浜町内の海水浴・花火シーズンにおける渋滞緩和を

目指して、公共交通の利便促進や即時交通情報提供による交通分散等を検討する。

両社は、南紀白浜空港の運営に加えて、紀南地域全体における観光客の周遊促進、地域活性化、地域交通の円滑化など、「地域全体の課題解決」「地域価値の向上」に取り組んでいく。